

関西聚 活動報告書



活動名: 自然学習ゾーン整備 活動日: 2019.12.15(日)13:30~15:00

リーダー名: 伊東 俊廣

報告者: 伊東 俊廣

参加者:(一般参加者 6 人 スタッフ 8 人 合計 14 人)

スタッフ: 大川 英登、上田 泰史、山本 勲、東川 惇、小久保 広宣、岩崎 和子、林 俊
伊東 俊廣

参加者 : 6 名 家族 2 組(5 名)、大人 1 名

活動内容 :

1) シイタケ栽培用原木の保管作業

久宝寺緑地の駐車場増設工事に伴って出たクヌギの枝(約1m長さ 34本)を、運搬して保管小屋へ。

菌打ち作業は、来年3月の活動日とアースデイ

2) 自然学習ゾーンに移植のため育苗中の苗木確認

現在畑に有る樹木は;

- ・カマツカ 4本、・ハクウンボク 1本、・シバグリ 1本、・シリブカガシ 2本
- ・アキグミ 2本、・カキ 1本、ツバキ 2本、・ミズナラ 7本(大:3本 小 4本)
- ・ムラサキシキブ 1本、・クヌギ 2本、・ゴンズイ 1本、・マユミ 5本
- ・カンレンボク 1本、・ロウバイ 1本、・サンショウ 4本

この中から10本位を選び、購入のヤマザクラと合わせて15本程度を移植計画する

3) カブトムシの飼育箱のチェック

参加者と一緒にカブトムシの幼虫を確認

4) 昆虫保護ゾーンに先月の活動で設置した、石組み(昆虫の隠れ家)が放り出されているとの情報が、準スタッフの岡さんからあった。岡さんが元に戻してくれた。

説明板の設置が必要。

活動報告・感想など

クリスマスリース作りに参加した家族2組(お母さんと子供2人、お母さんと子供1人)が手伝いに参加してくれた。原木運びで頑張った後、移植用の樹木観察、最後にカブトムシの幼虫を皆でチェック。カブトムシのえさやりも来たいとのこと。お母さんにメールアドレスの許可を貰い、今後毎月の案内をいれることとした。子供たちが大きくなると離れていってしまうが、こういう体験は大事と思う。

昆虫保護ゾーンの石組みの件は残念。いたずらかもしれないが、色々な考えの方もいるので、何故これがあるのか説明しておかないといけない。

活動写真



原木の移動



原木の移動



原木の移動



原木の移動



原木の移動



作業終了
